

令和五年 大口真神式年祭



おいぬ様で知られる「大口真神」は、男具那社の御祭神である「日本武尊」の御眷属であり、また火難盗難、諸災退除の守護神として祀られております。

『日本武尊御東征のみぎり、山路険しき道で邪神の妖霧に犯され道を見失いし時、忽然と白狼が現れ道案内をして尊の難をお救いしたとあり、尊より、これより御嶽神社の御使者として世の人々を救うようにと仰られた。』
ことから大口真神として境内に鎮まり、多くの人々の信仰を集めております。

当社では平成二十三年より、御神像をご本殿にお遷しして行われる、大口真神式年祭を十二年毎に行うこととなり、令和最初の御開帳大口真神式年祭が三年後に迫って参りました。

昨今の自然災害、世界的な疫病の蔓延と私達の生活を脅かし、誰もが先の見えない不安な日々を過ごしているこのような時こそ、諸災退除の守護神である大口真神の御神徳を輝かして、世界の平和と安寧、そして講中崇敬者皆様の家内安全・商売繁盛・厄難消除を式年祭でお祈りするのです。現在その準備を進めておりますが、詳細につきましては来年以降改めてご案内を致します。

ご奉賛のお願い

式年祭にあたり、境内整備等を順次進めております。現在は、皇御孫命社、常磐堅磐社の修理を行っております。また、国宝「赤絲威鎧」は明治三十六年の修理後一〇〇年が経ち漆の剥離等進んでいるため、一〇〇年先まで変わらない姿でいられるよう十分な修復を行う予定です。他に宝物殿の改修工事も準備しております。

これら整備事業に、深いご理解とご信仰を賜り、皆様の心からの御奉賛を仰ぎたくお願い申し上げます。

御奉賛 一口 二千元

敬神奉賛員通信

敬神奉賛員の皆様には、深いご理解とご信仰をいただきまして、誠に有り難く感謝申し上げます。

関八州総守護社である武蔵御嶽神社の護持発展ならびに、ご信仰厚き皆様の安寧のために創設されました敬神奉賛員も、多くの方にご賛同いただき、お陰様を持ちまして奉賛会設立への一歩を踏み出す程に成長いたしました。これも偏に奉賛員の皆様のお陰と厚く御礼申し上げます。

本来であれば、今秋に第一回目となる「奉賛員大祭」が執行されるはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の為に、残念ながら延期とさせて頂きました。現在の社会情勢を鑑みると年内開催は難しく、来年十月に開催を予定したいと存じます。詳細が決まり次第ご連絡をさせていただきます。

今回の新型コロナウイルスによる影響は、通常の神社運営にも大きな変化をもたらしました。日の出祭の縮小はもとより、講中の春参りの自粛、御朱印は書き置きのみ対応など寂しいものでした。しかし、電話・フアックスでの御祈持・御守り等の受付を積極的にを行い、参詣できない方のための努力を致しました。また、毎日行う朝拝と夕拝では、新型コロナウイルスの一日でも速い収束を願う終息祈願を加えさせて頂き、今も続けて行っております。

今後とも皆様方の心の拠り所として、その役割を全う致したく神社を運営して参る所存でございますので、変わらぬご信仰をいただけます様、お願い申し上げます。

敬神奉賛員募集のご案内

当社では、敬神奉賛員を募集しております。敬神奉賛員とは、御嶽大神の御神徳を敬い、皆様の心の拠りどころとして、また武蔵御嶽神社の更なる護持発展を目的に創設いたしました。

奉賛員には例祭、祭典・行事のご案内のほか、新年に向けての御神札など各種の特典が受けられます。趣旨にご賛同いただき、ご入会下さいませようご案内申し上げます。

賛助費 五〇〇〇円

※詳しくは、社務所までご連絡下さい。

新任あいさつ



総代 小高 義行

この度、由緒ある武蔵御嶽神社の総代を仰せつかりました、小高義行でございます。

人生折り返しを過ぎた私に、この様な大役が務まるかはなはだ心配ではありますが、須崎宮司を始め、神職の方々のご指導を受けながら、日々勉強と考へ、一生懸命努めていく次第でございます。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



総代 秋山 佳久

宮司と本務職員十二名が直接神社を管理しており、その手助けをするのが総代です。大祭・中祭で宮司を補佐し、小祭では必要に応じて宮司の代理を務め、宮司の諮問に意見を述べ、会計監査を行うことが主な仕事です。極めて微力ながら、その職責を全うしたいと思います。



本務職員 馬場 慶太郎

この度本務を仰せ付かりました権禰宜の馬場と申します。私は國學院大学神道文化学部を卒業し神職資格を取得した後、東京都板橋区は氷川神社に三年間奉職をさせて頂いておりました。二年前より御嶽山に戻って参りまして、生家である宿坊駒鳥山荘の仕事に熟しながら、幼い頃より目にしてきた御嶽山の仕事に携わってきました。

そんな中、今夏より武蔵御嶽神社で本務員として選出され、恐れ多くも光栄に存じております。生まれ育ったお山の神職として社務に携われることは大変名誉であり、先祖代々が受け継いできた御嶽の歴史の一頁を紡ぐことに誇りをもって社務に勤しんで参ります。

まだまだ若輩者でございますが、宮司はじめ諸先輩方にご指導をいただきながら、講中やご参拝者の皆様に少しでも御嶽神社の歴史や風土をご理解いただけるよう邁進するとともに、私自身、御嶽の大神様をお守りする一心で精一杯努めて参る所存でございます故、御社頭で見かけた際には是非お気軽にお声掛けいただければ幸いです。

みたけの重忠くん 作たいやきジロー

東京都青梅市 御岳山...

首都圏近郊に 人々のハートをつかみ、

御岳山山頂に鎮座する 武蔵御嶽神社の 大口真神は、 お犬様の愛称で 関東四県を親まします。

神社の宝物殿には、 源平時代の大鎧があり、 全国的な知名度を誇っている。しかし、

その鎧を奉納した 御嶽山重忠の像は、 ほとんど知られていない。

国宝 1899

御岳山の行事

令和二年	一月	一日 元旦祭
		三日 太占祭
	二月	三日 大口真神社祭
		初午 稲荷社祭
	三月	二十三日 天長祭
	三月	八日 春季大祭(祈年祭)
	四月	二十日 奉納俳句奉告祭
	四月	十六日 産安社祭
	五月	二十九日 奉納剣道大会(介山祭)(中止)
	五月	七日 日の出祭(宵宮)
	五月	八日 日の出祭(神輿渡御)
	五月	十五日 男具那社祭
	六月	二日 大口真神社祭
	六月	二十一日 神楽と雅楽の一般公開(中止)
	六月	二十七日 修行体験講座(二泊中止)
	七月	三十日 夏越大祓
	七月	十八日 レンゲシヨウマまつり (九月十二日)
	八月	十八日 新神楽
	九月	十九日 滝行体験講座(中止)
	九月	六日 カンタンを聴く会
	九月	十二日 新神楽
	九月	十三日 一日修行体験講座
	十月	二日 御岳山天空縁日(中止)
	十月	二十九日 大口真神社祭・流鏝馬祭
	十月	十一日 敬神奉賛員大祭(中止)
	十月	十八日 神楽と雅楽の一般公開
	十月	十七日 天空もみじまつり
	十一月	二十四日 (十一月二十三日)
	十一月	八日 秋季大祭(新嘗祭)
	十一月	二十三日 末社祭
	十二月	八日 御岳登山競走(中止)
	十二月	三十一日 大祓
毎月	六月~十一月	第四日曜日 夜神楽(中止)
毎月	八月	月次祭
毎日		日供祭